



40 合同と相似

おさらいの回 (8)
[ドラマ編]

数字がとりなす絆
～四角数～

【今回学ぶこと】

いよいよベーシック数学も最終回です。

数学に…、慣れましたか？

数学が嫌いだなんてもう、言わせません！（笑）。少しは好きになってくれた方も多いと思います。

数学は学ぶためにあるというより、使うために学ぶのです。今回も数学を使ってお悩み解決します！

数学監修・執筆

湯浅弘一



四角数

第1回「プレリュード」で、 $1 + 2 + 3 + 4 + 5 + \dots + n = ?$ と1から順にたし算をしたとき《 $n \times (n + 1) \div 2$ 》となると学習しました。

覚えてますか？

今回は、奇数を順々にたしたときの特徴を学習します。

それは、四角数です。

$$1 = 1$$

$$1 + 3 = 4 = 2^2$$

$$1 + 3 + 5 = 9 = 3^2$$

$$1 + 3 + 5 + 7 = 16 = 4^2$$

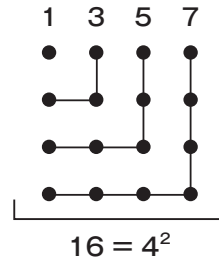
などなど…、必ず、2乗の形になります。

たとえば…、

$$1 + 3 + 5 + 7 + 9 + 11 + 13 + 15 = ?$$

であれば、8個の奇数の和ですから、

$$8^2 = 64 \text{ と瞬時にわかります。}$$



■では、1つ問題を!

おさらいの問題

$$1 + 3 + 5 + 7 + 9 + 11 + \dots + 99 = ?$$

答え

1, 3, 5, ……99 まで奇数が 100 より手前にあるので、1 ~ 99 まで 50 個の奇数の和は、
 $50^2 = ???$

正解は、 $50^2 = 2500$ となります!

.....

これからも、復習をお忘れなく!
疑問が出てきたら web でくり返し学習しましょう。
